

住み慣れた地域で

自分らしく生きがいと役割をもって生活できるよう、
リハビリを通じてサポートする

これが曙診療所通所リハビリテーションの理念です。私たちは、ご利用者の家庭を訪問し、環境を見せていただくと生活リズムや日常でできる動作の確認を行います。その評価をもとに、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)等の専門職がサポートしていきます。



それぞれの頭文字をとっています

「アケボノ・アール3乗」って？

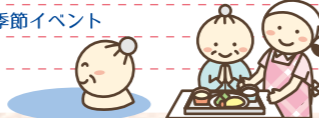
- R**ehabili (リハビリ)メニュー
- R**elax (リラックス)メニュー
- R**ecreation (レクリエーション)メニュー

曙診療所通所リハビリテーションって？

- 退院・退所後、リハビリ終了となってしまうがリハビリを継続したい
 - 加齢とともに閉じこもりがちとなり、体が弱ってきた
 - 一人で入浴が怖いので通所を利用したい
 - 昔のように歩けるようになりたい
 - つまづき易くなったのでリハビリしたい
- …私たちが利用者様をサポートします！



- 1 専門職が個別にリハビリのお手伝いをします！…腰や肩痛、脳卒中後遺症、足腰の衰え、加齢変化・予防のためのリハビリ
- 2 専門の医療機器があります！…広いニーズに対応します～
- 3 レクリエーションが選べます！…マージャンやカラオケ、創作・園芸活動の他、季節イベント
- 4 充実した設備でゆったりと入浴！…●評庭つきの広いお風呂 ●2台の機械浴
- 5 通いかたが選べます！…1日利用だけでなく、リハビリをして昼食後帰宅も可



1 専門職によるリハビリ

私たち療法士はご本人に対する直接的なアプローチだけでなく、ご家族からの介護や自主トレの相談も承ります。

言語聴覚士

食べること、声を出すこと、意思を伝えることなど、口と脳機能の維持・改善をお手伝いします。



理学療法士

姿勢調整や修正を行うことにより、起きる・座る・立つ・歩くなどの基本動作能力の維持・改善をお手伝いします。



作業療法士

残存能力を最大限に利用しながら、自動具などを活用し、更衣や食事、調理動作など、より生活に密着した能力の維持・改善をお手伝いします。



2 管理栄養士によるバランスのとれたお食事

季節感のある料理で、利用者さまに合わせて食べやすい様、配慮しております。なお、施設内にある厨房で調理しますので、出来立てのお食事が召し上がれます。おやつも手作りの物を提供しています。



3 流山中央病院と連携！！

安心！ 5<5<!

4 送迎サービス付き！

- ご自宅玄関から施設玄関まで
- 車椅子に座ったまま乗車可能なリフト車をご用意
- 乗降時の介助つき ● 家族送迎も可能です



スタッフ募集中です！！

お問い合わせ先 **TEL 04-7154-7474**

やりがいのある職場で
イキイキ楽しく働きませんか？

募集職種：●ヘルパー●送迎ドライバー
詳細はお気軽にお問い合わせ下さい！

体験利用についてもご相談ください

医療法人社団曙会
曙診療所 通所リハビリテーション

所在地 〒270-0114 流山市東初石2-175



☎ ご相談・お問い合わせ

受付時間 8:30～17:00 (日祝休み)

TEL 04-7154-7474



流山中央病院とみなさまをつなぐ広報誌

流山中央病院

〔季刊〕
Vol.09

Jan/2017

通信

発行
流山中央病院 千葉県流山市東初石 2-132-2
TEL.04-7154-5741 E-mail msw@nch.or.jp

No. 3

脳外コラム

流山中央病院 脳神経外科部長 金澤 隆三郎

私が当院にお世話になって5回目の正月を迎えました。私1名から現在常勤医が5名となり、ハードウェアの点でもシステムの点でも、トップレベルなものが揃いつつあると思います。これは誇大宣伝ではなく事実です。手術件数も昨年は、血管内手術、開頭手術ともに170件を超え、当院史上初めて300件を超えました。手術件数が多いことだけが重要ではありませんが、施設のレベルを測る1つの指標にはなりません。

逆にその分、責任が大きくなってきたことを日々感じております。成績を維持すること、患者さんのQOLへ寄与すること、その努力、工夫を今まで以上に慎重に行うこと、これらはすべて強く関連しています。新しい治療方法、新しい器材を常に取り入れ、それらに習熟することで地域医療への貢献をさらに高めてゆけるよう、謙虚に考え、行動して参りたいと考えています。更なるご指導、ご鞭撻の程、よろしくごお願い申し上げます。



平成29年1月20日発行
発行元 医療法人社団曙会 流山中央病院 地域連携室

発行所 〒270-0114 千葉県流山市東初石2-132-2
電話 04-7154-5741 E-mail : msw@nch.or.jp
HP http://www.nch.or.jp

身近にできる**感染対策**

～知っておくと安心なポイント！～

感染してしまった時…病院にかかる時…知っておくと安心なポイントをご案内いたします

1 ノロウイルス編

ノロウイルスは、10個～100個と少量のウイルスでも感染します(吐物や糞便中には100万～10億個ものウイルスが含まれています)。集団の中で一人が吐いてしまうと、周囲の人が全員罹ってしまうことも少なくありません。

吐物処理を正しい方法で行うことのみならず、ウイルスを退治するために、正しい消毒を行うことも大切です。ウイルスをうつさない、もらわない為に、知っておくと便利なポイントを幾つか取り上げてみました。

ノロウイルス基本情報

- <感染経路> 経口感染(食品、糞口) 接触感染(飛沫感染で感染の報告もあります)
- <症状> 下痢、嘔吐、腹痛、発熱
- <潜伏期間> 24～48時間
- <治療> 対症療法のみ
- <就業制限> 下痢・嘔吐消失後、48時間経過するまで

ポイント 吐いてしまった時…

カーペットや色落ちさせたくない布製品などはスチームアイロンを2分間あてることも有効です！(85度1分間以上でノロウイルスに効力を示す為)ウイルスが舞い散ってしまう前に退治しましょう！

- ペットボトルキャップ2杯分の家庭用塩素系漂白剤(ハイター等)を、ペットボトル500ml分の水で薄めたものを使用するのがオススメです。
- ペットボトル(500ml)・家庭用塩素系漂白剤(ハイター等)・ビニール手袋・マスク・ペーパー・大き目のビニール袋…そなえておけばすぐ使えます。 ※アルコールは効きません

ポイント うつさないためにできること

自分が罹ってしまったかもしれない時、罹ってしまった時の為に備えること
特に乳幼児のお父さん、お母さんはウイルスに感染するのを防ぐことより、吐いたときの誤嚥を防いであげることが重要になります。抱っこしながら吐いてしまうということもあるでしょう。その場合は、潜伏期間を踏まえ、職場や保育施設などに申告しておくことも双方が安心へと繋がる事でしょう。

★予防パンフレットも差し上げております！ご希望の際は職員へお気軽にお問合せ下さい。

2 インフルエンザ編

インフルエンザのピーク時期は1月下旬～3月上旬ですが、今シーズンは例年より早く既にピーク時期に突入しております。咳、鼻水などを介して人から人へ感染しやすいので、症状が少しでもあれば、マスクをつけて外出するなど、周囲へうつさないことが重要です。ウイルスが排出されるのは、発熱1日前から発症後5日とされています。風邪症状、関節痛、悪寒出現時からマスクをつけることがポイントです。

インフルエンザ基本情報 発熱後6時間未満でも検査判定できます

- <感染経路> 接触・飛沫感染(咳やくしゃみを介した感染)
- <症状> 発熱、頭痛、筋関節痛、咳、鼻汁(症状は約1週間で軽快)
- <潜伏期間> 24～96時間(平均2日間)
- <治療> 抗インフルエンザ薬(発症後48時間以内に服用開始する)
- <就業制限> 発熱した後5日間を経過し、かつ解熱した後2日経過するまで

ポイント マスクを忘れた時の咳エチケット

ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1メートル以上離れて咳をしましょう！



- ティッシュを使った後の手洗いも忘れずに！
- 鼻汁、痰などを含んだティッシュが感染源になります。すぐにゴミ箱に捨てましょう！



3 受診したい時はいつでも電話相談できます お問合せ先：TEL 04-7154-5741(代表)

ノロウイルス、インフルエンザを疑う症状の患者様が安心して待合ができるよう到来院後、ご案内をさせていただきます。また、吐き気や下痢などの症状が強い場合もお申し出下さい。

お車でご家族と来院する場合

ご家族の方のみが受付に申し出て頂くことも可能です

送迎バスで来院する場合

運転手に一言声をかけて下さい

お一人で来院された場合

受付に申し出て下さい

正面入り口 左側 インターホンを押してお知らせ下さい

注)ノロウイルス検査実施していない方でも診察医師の指示により、感染症室でお会計していただく場合もあります。最後にノロウイルス、インフルエンザと共に流行時期がまだまだ続きます。ご面会の方へマスクの着用をお願いしております。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

ごあいさつ



寒中お見舞い申し上げます。

2017年(平成29年)の干支は酉(とり)です。酉は鳥ですが、もともとは酒つぼを意味し、果実が成熟した実りを迎え、収穫した果実から酒を造るという行為に由来したという説があります。また酉は十二支でも仲の悪い猿と犬にはさまれ仲を取り(とり)もつために10番目の干支となったという説もあるそうです。

流山中央病院は、地域の皆さまと健康を取り(とり)もつ存在として、職員一同が一丸となり地域医療への貢献のため、より一層精進し、東葛地区の救急医療および高度先進医療の担い手としてさらなる飛躍を目指す1年とする所存です。

地域の皆さまにとっても、この1年が実り多い年となることをお祈り申し上げます。



医療法人社団 曙会
流山中央病院
理事長 国吉昇